

読み方ガイド／目次

読み方ガイド

保土谷化学グループが描くVISIONとは？

新しいVISIONとして「独創をミガキ、共創でヒラク 本邦嚆矢（ほんぼうこうし）のDNAで、価値を創り、夢をカタチに」を掲げています。創業110周年を起点に、多様なステークホルダーとの共創を通じて非連続な成長を実現する姿を提示しています。

▶ 中期経営計画「コード2030 (CODE/CHORD 2030)」の基本方針 P.13

どのように収益基盤を強固にするのか？

成長を牽引する有機EL材料事業に加え、「第2・第3の柱」を確立すべくポートフォリオ変革に挑んでいます。核酸医薬分野や半導体材料への新規展開や、海外企業の買収による特殊化学品事業の強化、抜本的な構造改革など、セグメント別の成長シナリオと課題を説明しています。

▶ 社長メッセージ P.5-8 ▶ 事業概要、課題と対策 P.24-28

今後の投資・財務の方針は？

成長投資を加速させるため、財務の健全性を維持しながら、適切なレバレッジを活用する資本政策へと進化させます。中期経営計画期間中のキャッシュアロケーションや、2031年3月期にDOE3.0%以上の株主還元を実施する方針について詳述しています。

▶ 財務戦略・資本政策 P.19-20

非連続な成長を支える価値創造の源泉は？

「本邦嚆矢」の精神と長年培ってきた独創的な技術力が価値創造の源泉です。研究開発・生産・営業が連携する「三位一体」のビジネスモデル、投資パラダイムの転換、ステークホルダーとの共創の推進、それらを原動力として次代の収益の柱を育てる戦略を紹介しています。

▶ 社長メッセージ P.5-8 ▶ Cutting Edge P.15-16

持続的な企業価値向上を目指したガバナンス体制とは？

迅速な経営判断を可能にする監査等委員会設置会社の体制の下、監督機能を重視したモニタリングモデルを推進しています。社外取締役が委員長を務める指名・報酬委員会の設置をはじめ、女性社外取締役の招聘や女性執行役員の登用など、取締役会の独立性・多様性向上に向けた取り組み等について記載しています。

▶ 戦略の実現を支えるガバナンス P.38-47

目次

序章

読み方ガイド／目次	1
経営理念	2
At a Glance	3
保土谷化学グループのイノベーションの歴史	4

課題と対峙する

社長メッセージ	5
リスクと機会	9
価値創造を実現する「6つの資本」とマテリアリティ	10
保土谷化学グループの価値創造プロセス	11
前中期経営計画の振り返り	12
中期経営計画 「コード2030 (CODE/CHORD 2030)」の基本方針	13
中期経営計画 成長戦略の柱	14

成長の柱

Cutting Edge	15
未来会議	17
財務戦略・資本政策	19
人材戦略	21
研究開発／知的財産戦略	22
DX	23

事業概要、課題と対策

機能性色素セグメント	24
機能性樹脂セグメント	25
基礎化学品セグメント	26
アグロサイエンスセグメント	27
物流関連セグメント	28

サステナビリティと社会価値

保土谷化学グループのサステナビリティ	29
TCFD提言に沿った情報開示	29
レスポンスブル・ケア	
— 環境	30
— 労働安全衛生・保安防災	31
— 化学品・製品安全	32
— 品質保証	33
— 調達活動	34
人権の尊重	35
地域・社会	36

戦略の実現を支えるガバナンス

社外取締役鼎談	38
ガバナンス体制全体像	40
取締役会	41
役員紹介	43
スキルマトリクス／取締役選任理由	44
サクセッションプラン／報酬	45
コンプライアンス	46
リスクマネジメント	47

データ

非財務ハイライト	48
主なESGデータ	49
財務ハイライト（連結）	50
6か年の主要財務データ／真正性表明	51
MD&A	52
会社情報／株式情報	54
グローバルネットワーク	55

経営理念

私たちは、化学技術の絶えざる革新を通じ、
お客様が期待し満足する高品質の製品・サービスを世界に提供し、
環境調和型の生活文化の創造に貢献します。

PURPOSE

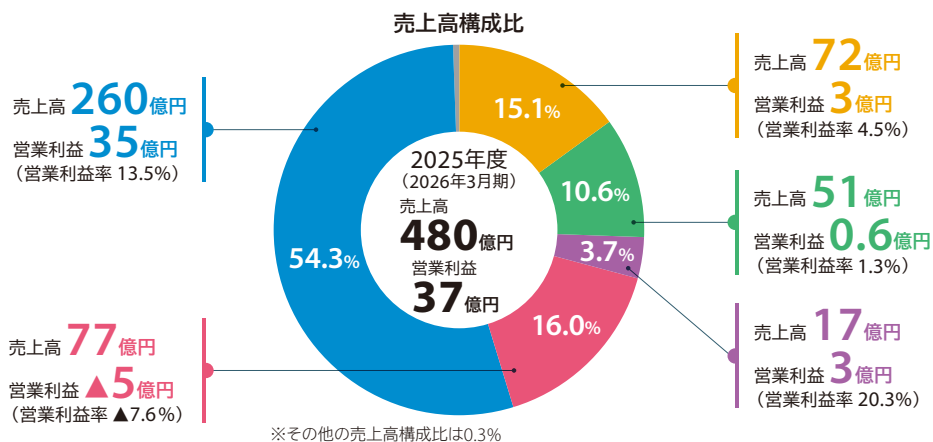
化学で夢のお手伝い
Your Dream is Our Business

VISION

独創をミガキ、共創でヒラク
本邦嚆矢のDNAで、価値を創り、夢をカタチに

※本邦嚆矢（ほんぼうこうし）：日本で初めての意。他人の成功の跡を追うのではなく、常に他人より一歩先に出て、新しい事業に果敢に挑戦する。自らが嚆矢（最初の一矢）となる。

At a Glance



グローバルネットワーク



機能性色素セグメント

強み 「有機合成技術」「精製技術」を絶えずミガキ、
未来の豊かな暮らしを支える新たな事業領域へ果敢に挑戦する力

有機EL・先端材料事業

- 発光材料、輸送材料、表面保護材料
- バイオ材料 (オリゴ核酸製品)
- コピー用紙用材料
- カラーフィルター用染料
- ペロブスカイト型太陽電池材料
- 半導体用材料 (レジスト材料)

色素材料事業

- アルミ着色用染料
- 文具用染料
- カラートリートメント用染料
- 天然色素 (食用・工業用)



機能性樹脂セグメント

強み 「ホスゲン化技術」を核としたグローバル・ニッチトップの
地位確立により、人々の豊かな暮らしと環境調和の両立を
実現する高付加価値スペシャリティ品を世界へ届ける力

機能化学品事業

- ウレタン原料 (PTG、BIO-PTG、PTG-SOFTENA等)
- ホスゲン誘導体 (医薬・樹脂・電子材料用中間体)
- 接着剤
- 剥離剤

建築材料事業

- 土木・建築用材料 (ウレタン系)
- 防水・止水工事



基礎化学品セグメント

強み

長年培った過酸化水素の製造技術と
強固な安定供給網を基に、衣食住から先端分野まで、
時代の求める新たな用途へ展開する発想力

パーオキサイド事業

- 過酸化水素
- 過炭酸ナトリウム
- 過酢酸 (除菌用、食添用)
- 工業薬品



アグロサイエンスセグメント

強み

「製剤化技術」をベースとした独創的な製品開発を通じ、
環境対応を軸とした新たな市場を共創する力

農業・農業資材事業

- 除草剤
- 殺虫剤
- 殺菌剤
- 農業資材 (酸素供給剤)



物流関連セグメント

強み

危険物・化学品の「取り扱いノウハウ」と先進技術の
融合により次世代の安心・安全をカタチにする力

物流関連事業

- 倉庫業 (危険物/一般品) 横浜営業所、郡山営業所、南陽営業所
- 貨物利用運送取扱業
- ISOタンクコンテナ保管事業



保土谷化学グループのイノベーションの歴史



創業者 磯村 音介

1916年、保土谷化学は日本で初めて電解法苛性ソーダを製造する企業として誕生しました。

創業111年の長い歴史により培われた技術を基に、時代のニーズに応え、絶えざる革新を通じて、染料から農薬、医薬中間体、ウレタン樹脂材料、有機EL材料といった、暮らしと社会を支えるさまざまな製品を生み出し続けてまいりました。保土谷化学グループは、次の100年も、価値ある製品・サービスの創出を通じて、持続可能な社会の発展に貢献する企業として、中期経営計画「コード2030」を始動し、その歩みを続けてまいります。

1915年

現在の神奈川県横浜市保土ヶ谷区に「程谷曹達工場」設立

●1916年

東洋曹達株式会社（現郡山工場）設立



●1939年

鶴見工場（現横浜工場）設立
「保土谷化学工業株式会社」に社名変更



●1967年

ニューヨーク駐在事務所開設（1986年現地法人化）

●1971年

南陽工場設立



●1978年

保土谷建材工業株式会社設立（2017年保土谷建材株式会社へ商号変更）

●1991年
筑波研究所設立



●1993年

保土谷コントラクトラボ株式会社設立

●1994年

保土谷アグロス株式会社設立
（2011年保土谷アグロテック株式会社へ商号変更）

●1997年

保土谷ロジスティックス株式会社設立
上海駐在事務所開設（2014年現地法人化）

●2006年

日本ポリウレタン株式会社の一部株式を譲渡（2012年全株式譲渡）

●2008年

韓国駐在事務所開設（2011年現地法人化）
保土谷UPL株式会社設立

●2010年

デュッセルドルフ駐在事務所開設（2018年現地法人化）
台北駐在事務所開設
SFC CO., LTD. (韓国)の株式を取得

●2015年

監査等委員会設置会社に移行

●2022年

プライム市場移行
本社移転（汐留）

●2023年

SFC BioPark (韓国) 竣工

●2025年

SFC CO., LTD. (韓国) が
REXCEL CO., LTD. (韓国) を
吸収合併

2026年
創立110周年

●2026年

Framochem (ハンガリー) の
持分を取得（完全子会社化）

※1976年までは個別業績、1977年からは連結業績で表示しております。
※1946～1950年は戦後処理のため不明となっております。

